

入間市加治丘陵の南裾を通る通称根通りには、約40軒ほどの茶舗が営業している。そのなかに江戸時代後期から続く『池乃屋園』がある。池谷英樹さん(42歳)と父、昭二さん(71歳)が3haの茶畑を管理し、自宅の敷地にある工場で製茶をして販売までするという狭山特有の自園、自製、自販を続けている。

「明治26年に行われた米国シカゴ万国博覧会に茶を出品して銅賞をもらっているんですよ。だからその頃にはかなり本格的にやっていたんじゃないですか。『よく何代目ですか』って聞かれるんですけど、史料がなくなっていて、はっきりは分からないんです。たぶん7代目か、8代目だと思っただけど」と英樹さんは言う。意外にも英樹さんは大学4年間、有名コーヒーチェーン店でアルバイトをしていた。

「もともとコーヒーの豆が好きだったんです。勉強してマスターの資格もとつたし、ティスティングや豆の種類を見分けたりすることも楽しかった。勉強する体制も整っていたんです。そんなある日『茶も同じだな』と気づいた瞬間があった。考えが変わった。うちにはいろんなお茶もあるし、技術も知識も習得できる環境がある。とくに修行に必要も感じなかったの、すぐ就活をやめて家にはいりました。学生の頃の経験もあって味覚の部分ではあまり苦労はありませんでした」とは言うものの最初は楽しそうにしている同期の友人が羨ましかった。しかし他の産地の仲間からSNSを通じて情報が集まりだすと、それをまたモチベーションに変えた。バイトでの経験もあって、全国闘茶会でもすぐにいい結果が出た。積極的に出ていた異業

種交流会で作った人間関係も今になって実を付け始めている。「当時は収穫した茶葉を工程に沿って作っているという感じだったんですが、30歳代になってやっと、全ての工程に自分でこうしているのか説明できるようになって、イメージに近いお茶ができるようになりまして。やっと入り口からゴールまで結びつきました」と振り返る。

製茶機械は手揉みの工程を機械化したものなので、機械を触るのにも手揉みの技術が分かっていると理解も早い。数字で水分値が【10】と言われても、それがどのくらいで、どういう状況なのか、手揉みの感覚が分かっていると数字と状況が結びつかないんです。手揉みを知らない人は機械が変わると作れなくなってしまうが、知っているのと、どの工場にいつても製茶できます。茶の葉は品種や産地によって手触りも大きく変わります。機械にはそれがわからないじゃないですか。それを触った感覚でつかんでバネの調整をするのは手揉みを知っている人のほうが敏感みたいです。入間市には手揉みの熟練者が多いと聞きます。だから

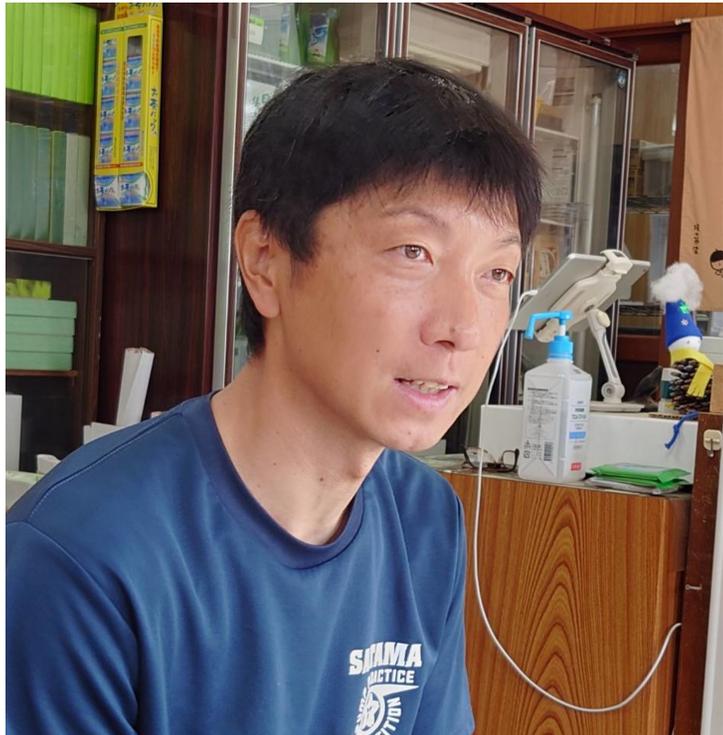
「その頃、手揉みの上級者は技術を隠して、肝心なことはなかなか教えてくれなかった。そこで従兄弟に付いて習うことにしたんです。身内だから包み隠さず指導してくれました。今の

があつて他の品種の良さがきわだつてくると思つています。狭山園さんの『ほのか』は『ふくみどり』を柱に『やぶきた』を合組したものです。特に火入れに特徴があります。『ふくみどり』は0・2haほど作っていますが、万能的な品種という印象です。萎凋にも向

い工場だただ通つて風にあたるだけです。パワーのある冷却器があると、ちゃんと蒸せるんです。うちの工場は設備があるんで問題はありません」と自信をみせる。



入間市・池乃屋園・池谷英樹



さやま火入れ
ほのか

「英樹さんは、『ふくみどり』はギレのいいコクとすっきりした味わい、さわやかな香気があると表現するが、印象的には強火との相性はあまり良くないと考えているようだ。でもそう遠くない日に甘くて、火香がぶんぶんするような『ふくみどり』を使った『ほのか』に挑んでくれるような気がする。この若者に託された新生『ほのか』はまだ生まれだての赤ん坊だ。これからどんな成長を見せてくれるのか、それを見守りながらいつしよにつくりあげていきたいと思う。」

「その頃、手揉みの上級者は技術を隠して、肝心なことはなかなか教えてくれなかった。そこで従兄弟に付いて習うことにしたんです。身内だから包み隠さず指導してくれました。今の

「その頃、手揉みの上級者は技術を隠して、肝心なことはなかなか教えてくれなかった。そこで従兄弟に付いて習うことにしたんです。身内だから包み隠さず指導してくれました。今の

「その頃、手揉みの上級者は技術を隠して、肝心なことはなかなか教えてくれなかった。そこで従兄弟に付いて習うことにしたんです。身内だから包み隠さず指導してくれました。今の

「その頃、手揉みの上級者は技術を隠して、肝心なことはなかなか教えてくれなかった。そこで従兄弟に付いて習うことにしたんです。身内だから包み隠さず指導してくれました。今の

「その頃、手揉みの上級者は技術を隠して、肝心なことはなかなか教えてくれなかった。そこで従兄弟に付いて習うことにしたんです。身内だから包み隠さず指導してくれました。今の



まごころ銘茶 狭山園 だより

令和7年10月



まごころ銘茶
狭山園